

日米韓軍事同盟粉碎！ 大学再編阻止！ 学研都市一同大移転粉碎！

# 10・24 関西学生 国際反戦集会

場所：同大明徳館前 主催：安保粉碎/関西学生連絡会  
時：1時～

同人会・丁共主  
国際反安保基斗  
反女金東共主会議  
周文吉・神木C自首会  
亮ヒ同僚会 芦木吉(本部)

9月6日韓国大統領全斗煥が来日し、中曾根、天皇ヒロヒトとの会談を行ない、昨年1月の中曾根訪韓にひきづり、大々的に“日韓新時代”とうたいあげた。我々は、この全来日一天皇会談を、かつての植民地支配を隠蔽し、現在の新植民地主義侵略を正当化し強化するものとして批判し、韓国民衆・在日朝鮮人の闘いと連帯し、関西、首都圏の学生・労働者とともに、9.6羽田現地闘争を頂点として来日阻止闘争を実力で闘い抜いてきた。来日を許してしまったものの、我々はこの闘いを継続させ、日帝の韓国新植民地主義侵略に反対し、韓国民衆の闘いの圧殺を阻むため日米韓反革命軍事同盟を粉碎する闘いを構築していくたいと考える。そのステップとして、6月30日の京大での集会以来全斗煥来日阻止闘争をともに闘い抜いてきた関西の学生諸君とともに、10.24反戦集会を開催する。全学の学生・教職員の皆さんに参加・注目を訴える。

## 1. 「戦争」は決して「昔の遠い話」ではない！

今も、世界のおちこちで、戦争、内戦、紛争が生じている。イラン・イラク戦争、昨年10月の米軍のケリナダへの侵略反革命戦争、今年に入り、このニカラグアへの介入、またエルサルバドル、グアテマラ等中南米の多くの国々での内戦、レバノン紛争etc.

我々の隣国・韓国でも反米、反日、反独裁を掲げた民族解放闘争が根強く闘われている。'80年5月には、朴正熙大統領の射殺後、全斗煥が軍事独裁者として登場したのに対し、民主化を求め起ち上がり、仁川市民の闘いに戒厳令が導入され、2000名を超える市民が虐殺されてい

る。この韓国民衆の闘いにショックを受けた日帝は、自国の権益防衛のため急激に軍備増強を推進し、昨年1月には中曾根首相が訪韓し、対韓40億ドル安保経済協力を決定し、全斗煥政権へのテコ入れを行ないつつ、その後の訪米、この9月の全斗煥来日を通じて日韓間の軍事協力の公然化による日米韓三軍の有機的な結合を急いでいる。また、この6月から配備を開始している核トマホークの搭載艦の日本寄港とまた、なしくすし的に容認し、米府の巨大な核軍事力とともに連々威嚇し、その影響力を排すことによって、三軍一体となり、民族解放闘争に凶暴に襲いかからんとしているのだ。

全来日の後で、自衛隊制服組のトップである瘦部統幕議長が訪韓し、10月1日の韓国「国軍の日」に参加するなど、日韓軍の「友好」を深めている。また国内でも、「危機管理国家」づくりが目指され、自民党、防衛庁、この7月に設置された総務庁がそれを有事立法も含め、「有事」の際の国家体制のあり方（「国民」をいかに総動員するか）について研究を進めている。

経済侵略を正当化し、日韓のアルミニウムの友好を深めるため、来年には「日韓国交正常化20周年記念」の

# 全学自治会 同学会

各種行事が準備されており、この「お祭り」に日本人民を動員することを通じ、韓國の支配者へ〔テ〕入れための軍事侵略を支持させようとしている。

戦争遂行体制は着々と強化されていいるのだ。

## 2. 反帝民族解放闘争と連帯し、日帝の軍事侵略・経済侵略を粉碎しよう！

我々は、この「戦争」の危機をいかに突破していくのか。反帝民族解放闘争の前進を「戦争の危機」と発展する前にくい止め、鎮圧し、AALA人民に、更なる搾取と抑圧を強いいるのか。そうではない！ 我々はAALA人民の闘いを支持し、連帯をととめ、日帝のさまざまな戦争準備と対決しつつ、さらに戦争の基底的原因である新植民地主義侵略とのそれを撃つていく闘いを構築していくなければならない。

現在、日本国内において、新植民地主義侵略を強化する国際商業体制へ再編に向けて、先端技術産業を軸とした産業構造へ転換がはかられている。そしてそのため、先端技術へ開港を、産官学協同研究体制へ確立によ。つなさしと、関西学術研究都市建設が推進されており、同志社大移転、京大移転がそろそろまれていて。今年4月には、同志移転強行のため抗議隊が導入され、反対する同志生川名を不当逮捕し、10名を起訴するといった大弾圧

が行われている。また、技術開発を担うエリート研究者を養成する教育体系の創出を一つの重要な課題とする臨時教育審議会が8月に設置され、帝国主義的教育再編が遂行されんとしている。全国名大学での慶賀化攻撃、学生管理の強化は、力なる教育政策の遂行に向けた予防弾圧に他ならない。

我々は、この侵略のジンクタウク、学研都市建設、侵略兵士を養成する教育再編に反対し、京大当局の吉田寅次郎實化＝監獄實化策動との対決を強めつつ、86局に教養部移転強行に対しては、同志学友とともに阻止斗争を担っていく主意である。

学園にかけられた帝国主義的国編攻撃と対峙しつつ、帝国主義をトータルな視点でとらえ、鬥鬪者・人民・AALA人民の斗いと連帯し共同斗争を推し進め、国際的・全人民的な反撃の陣型を立ち取つていかねばならぬ。

## 3. 10・24関西学生国際反戦集会に結集しよう！

10・24集会では以上のべた我々の斗いの方向性を、関西学生連絡会に結集する同志諸君とともに確認し道撃を開始していきたい。

全學の學友・教職員の皆さん、さらに全斗煙草日阻止斗争の継承・深化をめざす全国の學友・鬥鬪者・市民の皆さんへの参加を呼びかける。

共に斗い、共に勝利せん！